

IHE ワークショップ

2009年1月24日
日本眼科手術学会

日本眼科医療機器協会
電子カルテ標準化委員会

眼科特有の問題点

- ワークフロー標準化の難しさ
 - － 初診セットの存在
 - 診察前、オーダーなし、順番なし
 - － 自科検査
 - 技師が行うとは限らない
 - 診察と検査が同じケースあり
 - 検査数値、画像、シエーマ
 - － 流儀の違い
- データ保存期間が長い
 - － 20年以上

眼科機器協会活動状況 2007年

6月5日

日本眼科学会 新家理事長より

日本IHE協会に協力して眼科検査機器・ファイリングシステム・電子カルテの標準化への取り組みの要請

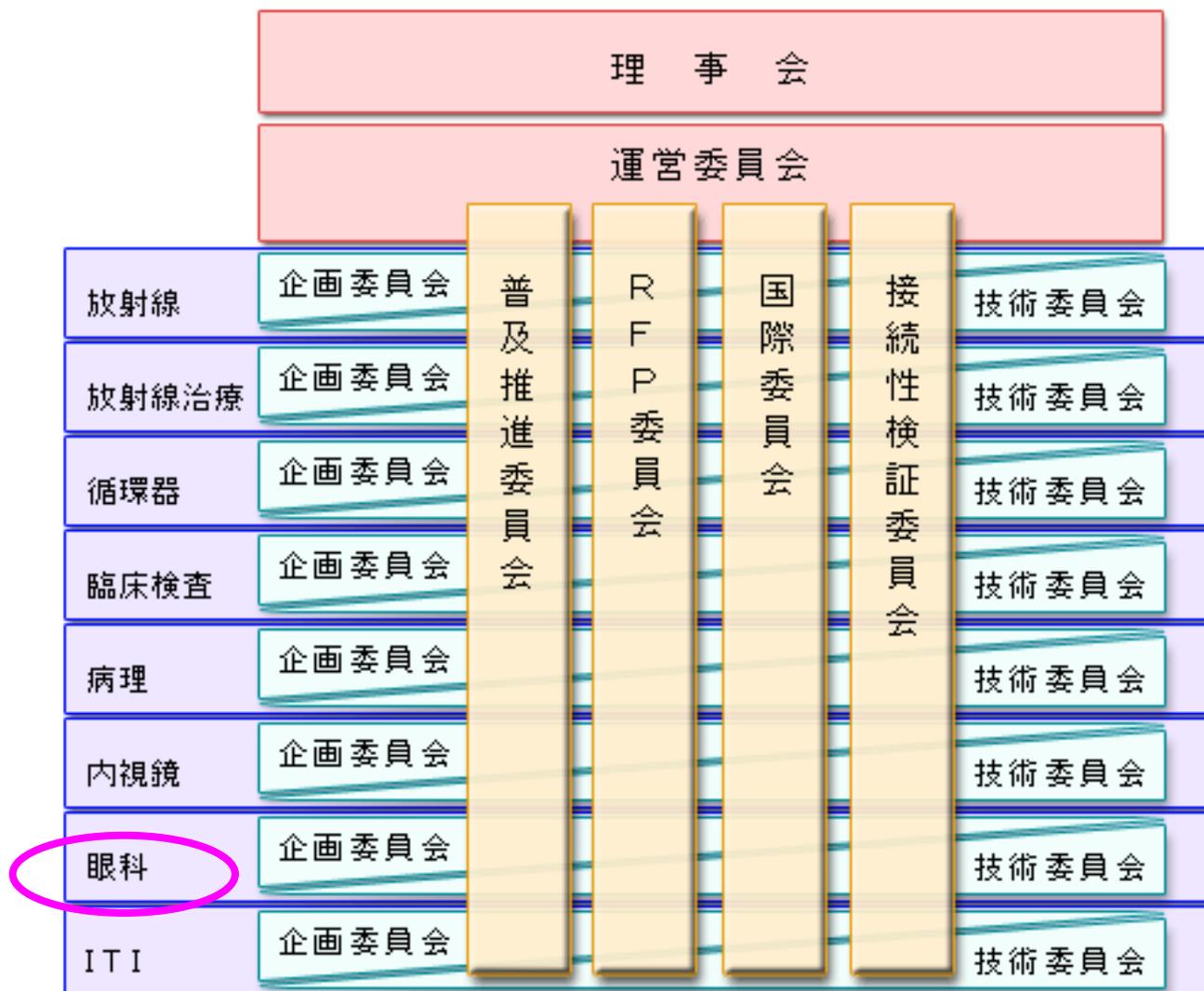
6月30日：理事会において電子カルテ標準化技術委員会発足

8月24日：臨時総会において承認

9月1～2日：日本IHE協会との合同合宿、役割分担を決定

10月12日：日本眼科学会、日本眼科医療機器協会、
日本IHE協会眼科企画・技術委員会合同委員会開催

日本IHE協会 組織図



出典：日本IHE協会

眼科医療機器協会の取組み

- 眼科診療ワークフローが複雑
 - 自科検査が多い
 - 標準診療ガイドラインがない
- 全企業も参加可能とする必要
- 旧来の機器を当面見捨てない
 - 旧来の機器のデータも取り込む

などから眼科機器協会としては、モダリティと部門システムの繋ぎ込みを行うこととする

院内情報システム; HIS DICOM

IHE協会担当

患者基本情報
オーダ情報
検査予約情報

実施情報

レポート要求

レポート
配信

眼科部門システム

(画像・検査・レポート)サーバー・ビューワの全部/一部を受け持つ

協会担当

画像要求

画像配信

画像呼出し

キー画像貼付け

共通仕様対応機器

共通仕様未対応機器

検査データ

IF PC

眼科部門filing system

眼科部門システムに含まれている場合あり

経緯 2008年

- 3月18日:眼科医療機器協会 技術委員会
- 10月10日:電子カルテ標準化技術委員会開催
オートレフケラトメーター最終仕様案提示
- 10月23日:眼科学会合同会議開催
- 10月24日:インストラクションコース実施
- 11月11日:眼科学会合同会議開催
手術学会ブースセミナー打合せ
- 12月16日:眼科学会合同会議
オートレフケラトメーター仕様決定

2009年 予定

- オートレフケラトメーター標準化仕様公表
 - － 眼科学会
 - － 厚生労働省
 - － 希望企業へ配布
- 今後の対象機器予定
 - － 数値機器 眼圧計(NC)、レンズメーターなど
 - － 画像機器
 - － 画像＋数値機器

オートレフケラト標準フォーマット

XML data with two large red "SAMPLE" stamps overlaid.

```
<Common>  
  <Company>Nidek</Company>  
  <ModelName>ARK-530</ModelName>  
  <MachineNo>1234</MachineNo>  
  <ROMVersion>1.0</ROMVersion>  
  <PartListNo>1</PartListNo>  
  <No.>123456</No.>  
  <ID>ABCDEFG</ID>  
  <FirstName>NIDEK</FirstName>  
  <MiddleName></MiddleName>  
  <LastName>TAROU</LastName>  
  <Sex>Male</Sex>  
  <Age>18</Age>  
  <DOB></DOB>  
  <NameJ1>Nidek</NameJ1>  
  <NameJ2>Tarou</NameJ2>  
</Common>  
<Measure type="REF">  
  <R1>  
    <Radius unit="mm">7.54</Radius>  
  </R1>  
<R2>  
    <Power unit="D">42.00</Power>  
    <Axis unit="deg">133</Axis>  
  </R2>  
<Cylinder>  
  </Cylinder>  
</Measure type="REF">
```

標準化のメリット

- システムメーカー主導で検査機器をそろえる必要はありません
- 検査機器が変わっても基本データは読めます
- 病院情報システム担当者も眼科の話聞いてくれます
- 他科から無視されません

電子カルテ標準化技術委員会

☺: 10月10日出席

	会員会社名:	担当者名:	ご所属:	TEL:	Email:
◎	1 キヤノンマーケティングジャパン(株)	山村 義昭	技術委員会委員長		
◎	2 (株)トプコン	加藤 憲	技術委員会副委員長	03-3558-3272	
◎	34 (株)トプコン				
◎	35 (株)トプコン				
	3 アールイーメディカル(株)				
◎	4 アールイーメディカル(株)				
◎	5 味の素トレーディング(株)				
	6 味の素トレーディング(株)				
	7 カールツァイスメディテック(株)				
◎	8 キヤノンマーケティングジャパン(株)				
	9 (株)コーナン・メディカル				
	10 (株)コーナン・メディカル				
◎	11 (株)ニデック				
◎	12 (株)ニデック				
	13 日本アルコン(株)				
	14 (株)日本点眼薬研究所				
	15 (株)ビーライン				
◎	16 (株)ビーライン				
	17 ファイバーテック(株)				
	18 (有)メイヨー				
	19 (有)メイヨー				
	20 (株)リブドゥコーポレーション				
◎	21 興和(株)				
◎	21 興和(株)				
◎	21 興和(株)				
	22 HOYA(株)メディカル事業部				
	23 HOYA(株)メディカル事業部				
◎	24 (株)タカギセイコー				
	25 (株)サンコンタクトレンズ				
◎	26 (株)トーマーコーポレーション				
◎	26 (株)トーマーコーポレーション				
	27 (株)トーマーコーポレーション				
	28 グランド精工(株)				
◎	29 グランド精工(株)				
	30 中央産業貿易				
	32 (株)ビーエスシー				
	33 (株)ビーエスシー				
1/1	事務局				

先生方、参加いただけませんか
でしょうか

産学連携事業として
参加企業は真剣です

登録会社数 : 22社

TEL: 03-5276-9841 | JUSE@joi3.or.jp